提案のあった三重県地域結集型共同研究事業概要図

三重県地域結集型共同研究事業

テーマ名：閉鎖性海域における環境創生プロジェクト
技術分野：環境、ライフサイエンス
事業目標：100 余年に渡る閉鎖性海域での養殖生産と生活排水の流入によって底質環境が悪化し、危機的状況に到っている英虞湾において、産学官の研究ポテンシャルを結集・活用し、効率的な底質改善と干潟・浅場・アマモ場の造成により、海域の自然浄化機能の向上を図るとともに、水質予報に基づく養殖の導入により、海域の環境保全と真珠養殖等の生産活動が調和した新たな沿岸海域の環境を創生し、地域経済の活性化に資する。

事業実施体制

事業推進根拠：「三重のくにづくり宣言第 2 次実施計画」(平成 14 年 3 月策定)及び
「三重県科学技術振興ビジョン」(平成 11 年 7 月策定)に基づく
事業総括：川喜田 貞久（株式会社百五銀行取締役会長）
研究統括：加藤 忠哉（三重大学名誉教授）
中核機関：財団法人三重県産業支援センター
コア研究室：三重県南勢志摩県民局志摩庁舎
自治体の担当部署：三重県科学技術振興センター総合研究企画部

産学官の連携

研究テーマ 1

【テーマ名】沿岸環境創生技術の開発
【研究リーダー】
前川 行幸（三重大学生物資源学部教授）
【参加研究機関・企業】
三重大学生物資源学部
九州大学農学研究院
広島大学大学院工学研究科
(独)水産総合研究センター養殖研究所
石原産業株式会社
大成建設株式会社
中部電力株式会社
株式会社ミキモト真珠研究所
御木本製薬株式会社
三重県科学技術振興センター

期待される研究成果
○浚渫・干潟・浅場造成による泥土の有効利用
○汚泥の掃除、浄化技術の確立
○干潟・浅場造成による生物生産性の増進
○藻場の繁茂による海藻類の生産性の増進
○環境調和型養殖技術の確立

期待される新技術や新産業の例
○藻場・干潟の造成と環境保全の事業化
○浅場造成技術の確立と共同事業への展開
○公共事業の施工方法の改善
○教育・啓発型の環境保全技術の提供
○体験型の環境教育場の提供
○真珠養殖技術の確立
○負荷削減技術の確立
○殻利用（貝殻・真珠の有効利用）
○貝肉の有効利用
○残渣処理
○貝肉の掃除・洗浄技術の確立
○浚渫土砂の有効利用
○シップ型の浚渫土砂の有効利用
○素材化技術の確立
○新素材の開発
○底質改善技術の確立
○生物多様性の保全
○生物資源の利用
○生物資源の利用技術の確立
○新型養殖技術の開発
○環境調和型養殖技術の確立
○新養殖技術の開発
○環境ビジネスの展開
○環境ビジネスの展開
○環境ビジネスの展開